



# 二輪草だより

2020年3月号  
発行:二輪草センター



## センターの活動予定

- ◆4月上旬 女性医師在籍状況調査
- ◆4月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより4月号発行

## 女性医師世代間アンケート集計結果

二輪草センター助教 菅野恭子

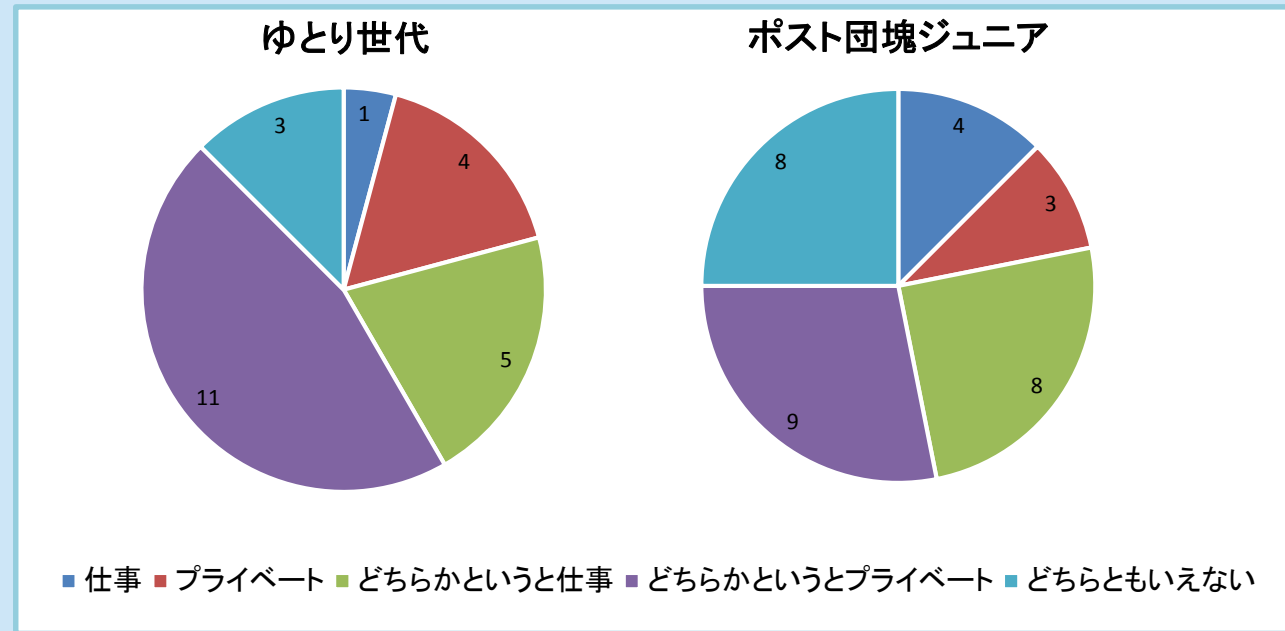
先日行いました仕事に対する意識調査のアンケート結果がでましたのでご報告します。

旭川医科大学に勤務中の女性医師116名にアンケート用紙を配り66名から回答を得ました。(回収率57%)

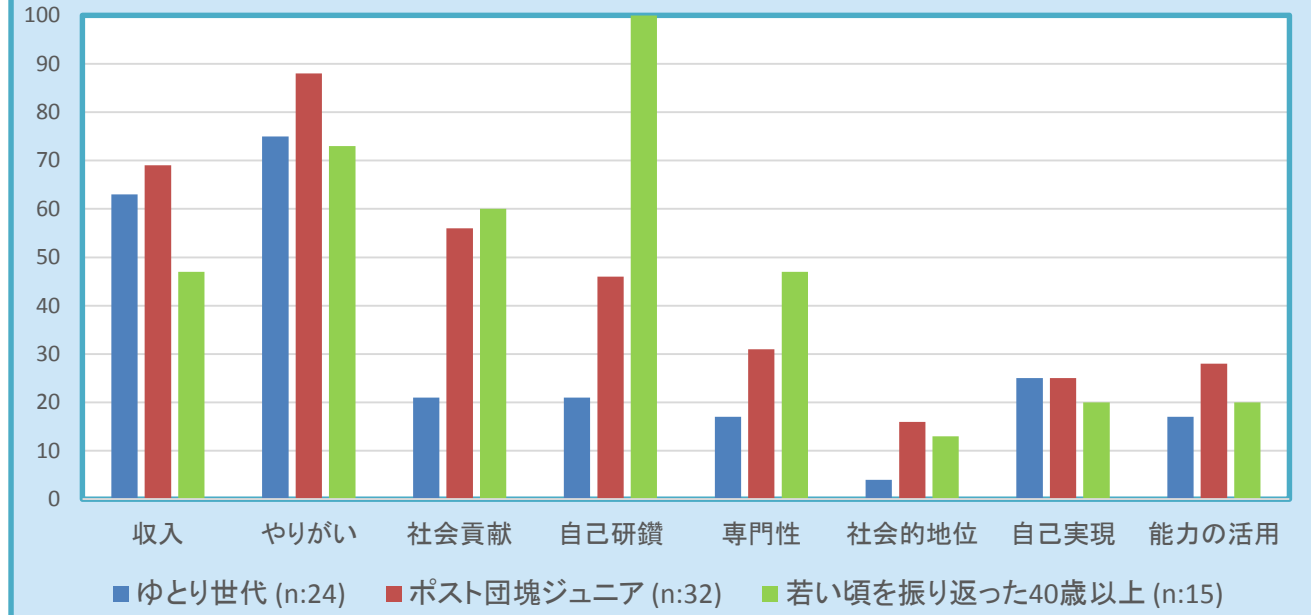
回答者をゆとり世代(31歳以下), ポスト団塊ジュニア(32~43歳), 団塊ジュニア(44~47歳)、バブル世代(48~54歳), 団塊の世代(54歳以上)に分け、回答に差がみられるか検討しました。ポスト団塊ジュニアが32名と最も多く、次いでゆとり世代24名、団塊ジュニア5名、バブル世代3名、団塊の世代2名でした。

回答者が多かったポスト団塊ジュニアとゆとり世代を比較すると、子供の有無はポスト団塊ジュニアは56%、ゆとり世代は17%が子供を有していました。将来リーダーになりたいかの質問ではポスト団塊ジュニアはなりたいたい、なりたくないの比が1:2に対し、ゆとり世代では1:4でした。仕事とプライベートの優先度について、ポスト団塊ジュニアはどちらかという仕事、どちらかというプライベートが同数で、ゆとり世代ではどちらかというプライベートが最も多かったです。仕事の目的についての問いでは、やりがいが高くて、次いで収入でした。ポスト団塊ジュニアは社会貢献、自己研鑽、専門性、社会的地位を選んだ人がゆとり世代より多い結果となりました。40歳以上の医師が若い頃を振り返り回答してもらったところ自己研鑽が最も高く、ゆとり世代と比較すると社会貢献、専門性、社会的地位を選んだ人が多かったです。ポスト団塊ジュニアと40歳以上の医師の若い頃の意識にはあまり差がみられませんでした。以上の結果から世代間による仕事に対する意識の違いが明らかになりました。今後これからの世代をサポートしていく上で仕事を続けていく事の意味、重要性を発信し続ける必要があると考えました。この度はお忙しい中アンケートにご協力頂き誠にありがとうございました。

## 仕事の優先度



## 仕事の目的



## 病児・病後児保育「のんの」よりお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で「のんの」の利用は外傷のみとさせていただきますが、3月30日より通常の受付といたします



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談  
【2月20日~3月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	17回	稼働回数	17回
病児・病後児保育室	依頼回数	4回	利用回数	3回
カウンセリング相談			利用回数	3回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

## 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分~17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

